

研友社 Annual Review

一般財団法人研友社（以下、研友社）は、運輸に関する技術の進歩発展及び科学技術の振興を図ることを目的として、鉄道及び鉄道技術に関する基礎・先端的分野の調査研究の助成を、公益目的支出計画に基づく「鉄道技術等に関する調査研究の助成事業」として実施しています。

助成対象の調査研究テーマは広く公募しており、有識者からなる「調査研究運営委員会」における審査・選考を経て助成対象テーマが採択されます。

調査研究の成果概要は、研友社が毎年発行する「Annual Review」に掲載し、関係機関に配布するとともに、研友社 URL (<https://www.kenf.jp/annualreview/index.html>) に掲載することにより広く一般に公開します。

さらに、研友社が年 4 回発行する機関誌「研友 (RRPF Journal)」にも順次掲載して参ります。

調査研究の成果報告書は、研友社で所蔵し、研究者及び一般の皆さまの閲覧に供します。また、公益財団法人鉄道総合技術研究所図書館に寄贈します。

2024年度調査研究テーマ

- KR-104 新幹線の開業が中間駅周辺市町村の社会経済指標に与える因果効果の統計的推論
東京理科大学 創域理工学部 社会基盤工学科 教授 寺部慎太郎
- KR-105 鉄道非常時における鉄道会社と利用者の協力連携の実現に向けて
—鉄道会社と大学の協働による啓発実践の改善—
成城大学 文芸学部 マスコミュニケーション学科 准教授 山内 香奈
- KR-106 地域鉄道を活用した貨客混載の全国展開によるドライバー不足対策効果のシミュレーション
高知大学 教育研究部 自然科学系理工学部門 講師 坂本 淳
- KR-107 大阪・関西万博を起点とした外国人による鉄道調査—持続可能な観光の実現に向けて—
東京経済大学 全学共通教育センター 教授 カレイラ松崎順子
- KR-108 鉄道の災害医療への活用に関する研究
早稲田大学 総合研究機構 医療レギュラトリーサイエンス研究所 顧問 名誉教授 梅津 光生
同 招聘研究員 小峰 輝男
- KR-109 マルチモーダル対応の貨客混載における荷役生産性の向上に関する調査研究
日本大学 生産工学部 マネジメント工学科 教授 鈴木 邦成
埼玉工業大学 人間社会学部 情報社会学科 教授 村山 要司
- KR-110 人体通信技術による車両内通信システム実現に向けた研究調査
電気通信大学 大学院情報理工学研究科 機械知能システム学専攻 准教授 村松 大陸